

News Release

【報道関係各位】

2011年6月29日

セント・ジュード・メディカル株式会社

セント・ジュード・メディカル、新しい生体弁を日本で発売

市場規模1億ドルと推定され、今後も伸びが予想される日本の生体弁市場に投入するセント・ジュード・メディカル初の生体弁

セント・ジュード・メディカル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:ウィリアム・フィリップス)は、Linx™ AC技術を施したSJMエピック生体弁の発売を発表しました。耐久性に配慮した設計により、弁自体の寿命の向上と、患者様の再手術リスクを低減させる可能性を持った製品です。

SJMエピック生体弁は、心臓からの血流をコントロールする心臓弁が病気により損傷した場合や機能不全になった場合に植え込まれ、損傷した心臓弁と置き換えられます。医師が患者様のために生体弁を選ぶ場合、長期的な耐久性は最も重要な条件の一つとなりますが、本製品には20年間の長期耐久性及び臨床実績が設計思想として盛り込まれています。

人工心臓弁の耐久性は、機械的なストレスと組織石灰化の両方に影響を受けるため、本製品は、その両方の課題に着目し、長期的に性能が維持できるように設計されています。今までの生体弁では組織石灰化(硬化)が共通の合併症でしたが、本製品では、抗石灰化処理技術「Linx AC処理」を導入することにより石灰化の抑制に対処し、一方で、柔軟なステントを組み込むことによって、弁の開閉にともなう生じる機械的ストレスを軽減させるような構造になっています。

「SJMエピック生体弁は、すでに米国およびヨーロッパの心臓外科医にとって魅力的な選択肢となっています。日本でこの生体弁を発売し、生体弁事業に乗り出したことは、日本の医師や患者様のために生体弁の耐久性、植込み手技の簡素化および血行動態の向上を目指していくことに他なりません。」と、セント・ジュード・メディカル、カーディオバスキュラー部門プレジデント、フランク・J・キャラハンは述べています。

FlexFitステントを搭載したSJMエピック生体弁は、ロープロファイルデザインにより、大動脈弁および僧帽弁いずれの部位にでも植込みが可能です。また、使いやすさを向上させ、特に低侵襲的手技を容易にするような機能をもった部品がシステムを構成しています。

「現在利用可能なその他の生体弁よりも長寿命であることが臨床的に証明されており、本邦での第1例目の植え込みを経験しましたが、大変扱いやすい、手技的にも装着感も好ましい弁であると感じました。エピック弁の普及により、患者さんが高いQOLが得られ大きな恩恵が受けられることを期待しています。」と、澤芳樹医師、大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科主任教授は述べています。

SJMエピック生体弁には、セント・ジュード・メディカル(米国)が長年培った生体弁技術と同様の設計が用いられています。

SJMエピック生体弁は、市場をリードする機械心臓弁、弁輪形成リングを含む、セント・ジュード・メディカルの日本における弁製品ポートフォリオを拡大させる製品です。

セント・ジュード・メディカル(米国)について

セント・ジュード・メディカル(米国)は世界中の心臓病、神経系および慢性疼痛の患者様の治療に当たる医療従事者の方々が優れたコントロールを手にすることができるよう、医療技術とサービスを開発しています。セント・ジュード・メディカルはリスクを可能な限り軽減すること、そして全ての患者様の治療の成功に貢献することを通じて、医療の発展に全力で取り組みます。セント・ジュード・メディカルは、米国ミネソタ州セントポールに本社を置き、「カーディアック・リズム・マネジメント」、「心房細動」、「心臓血管」、および「ニューロ・モジュレーション(神経系)」の4つの分野に注力しています。セント・ジュード・メディカルの詳細については<http://www.sjm.com>をご覧ください。

将来の見通しに関する記述

このプレスリリースには、1995年私的証券訴訟改革法の意味する、リスクや不確実性等の将来に関する記述が含まれる場合があります。このような将来の見通しに関する記述には、潜在的な臨床的成功、見込まれる当局の承認や将来の製品発売、予測される収入、利益、収益、市場シェア等、セント・ジュード・メディカル(米国、以下SJM Inc.)の期待、計画および見通しが含まれます。SJM Inc.による記述は、経営陣の最新の予測に基づいたものであり、実際の結果が将来に関する記述に記載された内容とは大きく異なるような特定のリスクや不確実性に影響されることがあります。これらのリスクや不確実性には、SJM Inc.の支配の及ばない市場の状況やその他の要因のほか、2011年1月1日に終了した当該年度に関する同社の10-K年度報告書および2011年4月2日に終了した四半期に関する同社の10-Q四半期報告書の「リスク要因および注意書き」の項に記載されたもの等、SECへのSJM Inc.の報告書に記載されたリスク要因やその他の注意書きが含まれます。SJM Inc.は、これらの記述を更新する意図はなく、またいかなる状況においてもそのような更新を特定の者に対して提供する義務を負うものではありません。

【本件に関する報道関係者のお問合せ先】

セント・ジュード・メディカル株式会社

セールス・マーケティング統括室

PR マネージャー

山田 秀之

TEL 03-6255-5707 FAX 03-6255-5701